

38:39 あなたは雌獅子のために獲物を狩り、若い獅子の食欲を満たすことができるか。

38:40 それらがほら穴に伏し、茂みの中で待ち伏せしているときに。

38:41 鳥の子が神に向かって鳴き叫び、食物がなくてさまようとき、鳥にえさを備えるのはだれか。

39:1 あなたは岩間の野やぎが子を産む時を知っているか。雌鹿が子を産むのを見守ったことがあるか。

39:2 あなたはこれらがはらんでいる月を数えることができるか。それらが子を産む時を知っているか。

39:3 それらは身をかがめて子を産み落とし、その胎児を放り出す。

39:4 その子らは強くなり、野原で大きくなると、出て行って、もとの所には帰らない。

前の部分からの続きです。神様から問われる形で、人間の限界が明らかにされています。現代ならばもっと広い分野の事柄について、神様から「できるか。」「だれか。」「知っているか。」と問われることでしょうか。たとえば火星に探査機を送り込んだくらいで、全宇宙を知ったことにはならないのです。

また私たちは自分自身の人生についても問われることでしょうか。現実的に言って、私たちは神様から教えていただかなければ何も知ることができませんし、正しい判断をすることはできないのです。神様の前にもう一度ひれ伏して、その偉大さと權威のを認めましょう。また自分自身の無知と限界を認めましょう。

その上で、神様のあわれみと慈しみを求めましょう。全ての善き物は神様から与えられます。ですから、どんなときにも諦めることはありません。大胆に希望を持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

